

ジンクパテST成分表・試験成績書

1. 成分表(重量%)

		塗料状態
主剤	亜鉛粉末	50.3
	亜鉛フレーク粉末	29.8
	エポキシ樹脂(ビスフェノールA型)	13.6
	変性エポキシ樹脂	1.7
硬化剤	変性脂肪族ポリアミン混合物	4.6
計		100.0

2. 性状

項目	性状	備考
色	シルバーグレー	
乾燥時間(時間)	4(完全硬化)	指触乾燥2.5時間、研磨可能24時間後
VOC排出量(%)	0	有機溶剤は使用していません

3. 試験成績表

項目	結果	JIS	規格
容器中の状態	異常なし	JISK5600-1-1	硬いかたまりがなく、均等になること
鉛筆ひっかけ試験	3H	JISK5600-5-4	鉛筆保持角45° 荷重750g
ゴバン目試験	異常なし	JISK5600-5-6	1mm×100目セロハンテープはがし
耐屈曲性	異常なし	JISK5600-5-1	6mmの心棒で試験して180° 折り曲げに耐えること
耐おもり落下性	異常なし	JISK5600-5-3	1/2" φ×500g×50cmで割れ、はがれができないこと
耐液体性	異常なし	JISK5600-6-2	水に72時間浸漬して異常がないこと
耐中性塩水噴霧性	異常なし	JISK5600-7-1	5%食塩水で168時間異常がないこと
耐候性	異常なし	JISK5600-7-6	6ヶ月間異常がないこと

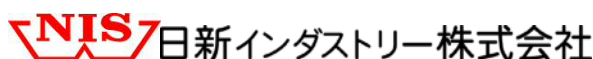
①JISK5600による。②試験片は塗ってから7日間置いた後試験する。

4. 荷姿及び入れ目

- 50gセット(主剤50g、硬化剤2.4g)
- 100gセット(主剤100g、硬化剤4.8g)
- 300gセット(主剤300g、硬化剤4.8g入り3本)

5. 推奨補修箇所

- 溶融亜鉛めっき鋼材へのこみ補修、金属の欠損・破損箇所の補修、溶接箇所の肉盛り補修、仕上げ材料組み月欠落箇所などの各種補修、配管パイプ、空調設備、水門装置の錆止め、各種自動販売機、水処理設備、工場のトタン板、グレーチング、ケーブルトレイ、パイプ接合部、ゴンドラ、エレベーター、チャンネルフレーム。
- めっき槽に入らない大型鋼造物や、熱歪のでる薄物への亜鉛めっきの代替え、あるいは鉄塔、船舶、橋梁、化学プラント、電力設備等の古くなって錆の出始めた亜鉛めっきの延命補修塗装。



本社：新宿区西早稲田2-15-11イーストンビル西早稲田2F TEL:03-3209-2181/FAX:03-3232-6953

※本データは、代表値であり保証値ではありません。

使用前にこの説明書をよくお読み下さい
 小分けで使用する際は、配合比を正確に守ってご使用下さい。

亜鉛めっき補修剤 ジンクパテST

Zinc Putty ST

■使用上の注意事項

- 専用の硬化剤以外のものを使用しないで下さい。
- 小分けで使用する際は、配合比を厳守して下さい。
- 塗布面の錆、油、溶接跡のスラッグや汚れ等は、完全に除去してから塗布して下さい。
- 鉄の地肌に直接塗ることによって防錆効果を発揮します。
- 未使用製品は、日光の当たらない冷暗所にて保管して下さい。
- 混合後30分以上すると急速に硬化が始まりますので、混合後はなるべく早めにご使用下さい。
- 本製品の安全に関する詳細な情報が必要な場合は、製品安全データシートをご参照下さい。

■硬化剤比率(重量比)

主剤/硬化剤 = 100/4.8

※主剤と硬化剤の比率は正確に守ってご使用下さい。

※小分けで使用する際の硬化剤の目安として、硬化剤3滴で約0.1gです。

■硬化時間

可使時間	指触乾燥	完全硬化	研磨可能
40分	2.5時間	4時間	24時間後

※常温(25℃)使用時 ※気温や湿度により変化します。

■小分け使用時の硬化剤の目安

主剤	5g	10g	20g	30g	40g	50g
硬化剤	0.24g	0.48g	0.96g	1.44g	1.92g	2.4g
	8滴	16滴	32滴	48滴	64滴	80滴

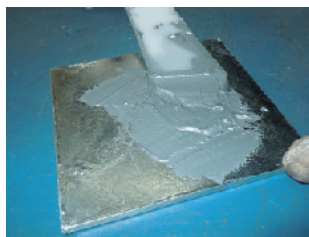
■使用方法



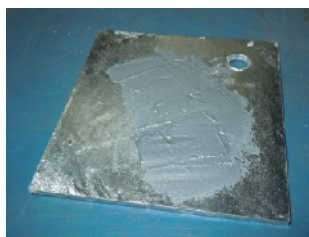
50gセットと100gセットを全量使用する際は、主剤の容器に付属の硬化剤を全量投入します。
 300gセット使用時や、小分けで使用する際は、主剤と硬化剤を100:4.8(重量比)で正確に計量して配合します。



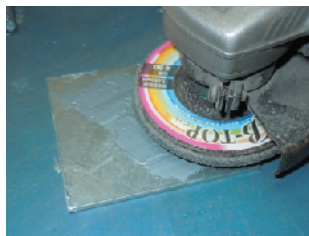
硬化剤投入後、2~3分程度ツヤがなくなるまで十分に混合攪拌します。
 混合後の可使時間は40分です。混合後は硬化が始まりますのでなるべく早めにご使用下さい。



へこみ箇所の補修時は、補修部へ埋め込むように塗布した後、少し多めに肉盛りしたほうが、後の作業がやりやすくなります。



塗布後、このまま硬化させます。
 硬化時間は約4時間です。硬化後は非常に硬質な硬化物となります。



硬化後はサンダー等での研磨加工が可能です。
 ※サンダー等での研磨加工は塗布後24時間以上たってから行って下さい。塗装は、指触乾燥後(塗布後約2.5時間後)から可能です。